

# ともしび通信



コープともしびボランティア振興財団

〒658-0084 兵庫県神戸市東灘区甲南町2丁目1番20号(コープリビング甲南2階)

TEL078-412-3930 FAX078-412-3871

発行人=竹本 成徳 編集人=宮内 明彌

## 10代の心と向き合う

### 講演会とワークショップを行いました

今年度、コープともしびボランティア振興財団では、思春期の揺れる子どもたちの心と向き合い、かかわっていくには…を、ともに考える講演会およびワークショップを開催しました。回が深まるごとに前向きになっていく参加者の姿勢に、元気づけられる講座となりました。

講演会は6月23日(土)、コープリビング甲南で、尼崎市で長く家族問題の相談にあたってこられた心理療法師の大野悦子氏を講師に招いて「子どもの思い、親の願い」と題して開催。大野氏は、大人は子どもたちに「言葉での命令」と「手を出し子どもの肩代わりをする」こ



やさしい語り口で講演される大野悦子氏

とで、自分で考え行動する力を奪っていないだろうか、と問題提起されました。その後、参加者一人ひとりに、子どもへの期待と、自分が子どもだったときの親への思いを語っていただき、その落差に気づかされる場面もありました。7月7日(土)から28日(土)までの毎週土曜日には、連続4回

で「10代の心と向き合う」ベリック・コミュニケーション・トレーニングのためのワークショップを開催。全体の企画とコーディネートをさまざまなワークショップを全国で展開されている川島憲志氏と関西学院大学専任講師の川島恵美氏に、またそれぞれのワークには川島恵美氏のほか、ノートルダム女子大学講師の山本智也氏、聖マリーガレット生涯教育研究所主任研究員の長尾文雄氏にファシリテーターを務めていただきました。参加者は小学校教員、養護教諭、塾講師、高校講師、現在不登校の子どもと暮らす親、不登校を乗り越えた経験をもつ親などさまざまな年代性別、10代とのかかわりもさまざまでしたが、1回目の緊張が回を重ねることにほぐれ、さまざまな体験的ワークを通して



輪になり率直な思いを出し合います  
左から2人目が講師の川島恵美氏

率直な自分の姿に直面し、他者を受け入れることを学びました。参加者からは講座終了後も「これからは継続して学びたい」「相談ボランティアの学習をしたい」など積極的な声が多く出されました。

## 長期休暇ボランティア体験学習

### ボランティア体験を通して大きく成長しました

今年度も、夏休みを利用して高校生以上の若者に福祉施設でのボランティア体験をコーディネートする「長期休暇ボランティア体験学習」を実施。協同の苑六甲アイランド、はーとらんど甲南デイスサービス、本多聞ケアホーム、モーツアルトの各施

設にお世話になりました。昨年高1で応募してきた井上裕介君は今年も参加。本多聞ケアホームで5日間の体験学習をしました。2年目の今年はデイスサービスの利用者との接し方も自然で、あちこちに目を配りながらの動きは見事なものでした。

参加した学生からは「これからのボランティアや実習に役立つ体験ができた」「高齢者の方とこんなに接したのは初めてで、自分の成長につながったように思う」などの感想が寄せられました。

コープともしびボランティア振興財団では、今後も、若い世代に体験学習の機会を提供していきたいと思っています。



長期休暇ボランティア体験学習